

東日本大震災から9年



あいぼーと 展示室

東日本大震災の発生から9年が経ちました。現在、北上川学習交流館あいぼーとは3月23日まで休館していますが、開館後には、震災当時の救命・救護ルート確保、復旧活動の記録パネルや映像資料の展示・上映をいたします。興味のある方はご来館ください。これらのパネルが、地域の防災力向上のため、また明日への備えの一助となれば幸いです。

忘れない。

- 2011年3月11日14時46分。
- 東日本大震災は、多くの人命、資産を奪い、私たちに大きな爪痕を残しました。
- 過去から繰り返す津波の悲劇と、その都度建てられた津波記念碑。
- 先祖の代から続く「二度と繰り返してならぬ」との熱い願い。
- 津波記念碑を残した先祖のように、同じ悲劇を繰り返さないことを願い、この被災経験・教訓を後世に伝えていくためにパネルを作成しました。
- 被災者、被災地の思いを忘れない。地域や世代を超えて、今回の教訓を共有していくことが大切です。



※パネルの一部を掲載。

上映映画



〈備える編ストーリー〉

一つは、岩手県普代村で当時の和村幸得村長が、反対する声もあったなか「明治に15メートルの大津波が来た」という言い伝えにこだわり「高さ15メートル以上」を主張し続け1967年に高さ15.5メートル全長155メートルの太田名部防潮堤が、1984年に高さ15.5メートル全長205メートルの普代水門がそれぞれ完成し津波から村人の命を守ったお話です。

〈学ぶ編ストーリー〉

もう一つは、大槌湾に面した岩手県釜石市の鶴住居地区は津波により壊滅状態になりましたが小学校と中学校にいた児童、生徒は無事でした。これは釜石市教育委員会と現場の教師たちが取り組んできた防災教育の成果のお話です。

復興・伝承

国土交通省 東北地方整備局のホームページでは、復興状況や震災伝承のための資料や写真などを掲載したサイトを作成しています。このサイトは、一般の方もパソコン等からご覧いただけます。また、あいぼーと受付に閲覧用のパソコンを設置しています。



編集後記

今年の春分は、20日(金)です。「暑さ寒さも彼岸まで」と言われています。今年は暖冬でしたが、引き続き体調管理をして、心健やかに、穏やかな春をむかえたいですね…❀(や)